

平成24年度（平成23年度対象）

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価に関する報告書

平成24年12月

常陸太田市教育委員会

## 目 次

### ．教育委員会施策の点検・評価の概要

1．趣旨	1
2．点検・評価の目的	1
3．点検・評価の対象	1
4．点検・評価の方法	1
5．点検・評価結果の公表等	2
6．点検・評価結果の概要	2

### ．施策別点検・評価

教育委員会施策の点検・評価書（平成23年度事業）	4
--------------------------	---

参考 教育委員会の活動状況	27
---------------	----

## ．平成 2 4 年度教育委員会施策の点検・評価の概要

### 1 ．趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号）第 2 7 条第 1 項の規定に基づき、市教育委員会が、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行う。

### 2 ．点検・評価の目的

教育委員会における主要な施策や事務事業について点検・評価を行い、課題や取組みの方向性を明らかにすることにより、効果的な教育行政の一層の推進を図る。

点検・評価の結果について報告書を作成し議会に提出するとともに、公表することにより、市民への説明責任を果たし市民に信頼される教育行政を推進する。

### 3 ．点検・評価の対象

平成 2 3 年度施策を点検・評価する。

- ・常陸太田市第 5 次総合計画前期基本計画における教育委員会所管の 1 3 施策
- ・常陸太田市学校教育プラン（H E A R T アッププラン）における 5 施策

### 4 ．点検・評価の方法

施策を構成する主な事務事業の評価を基に、施策の目標達成に向けた取組状況と成果の点検・評価を実施する。

学識経験者による教育行政評価委員が、施策評価や施策の改善点等について審議する。

#### （ 1 ）事務事業の評価

施策の目標達成のために行った主な事務事業について、その成果や課題を精査検証し評価する。

評価については、「 a 期待した成果があった」、「 b 一定の成果があった」及び「 c 見直しや改善が必要」の三段階で評価する。

#### （ 2 ）施策の評価

事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を評価する。

評価については、「 A 期待した成果があった」、「 B 一定の成果があった」及び「 C 見直しや改善が必要」の三段階で評価する。

今後の方向性を明確にするため、「課題と今後の方向」を記載する。

#### （ 3 ）学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する教育行政評価委員の審議を行う。

教育行政評価委員（敬称略）

分野	氏名	所属等
学校教育	小林 憲 男	元学校長（元学校長会会長）
社会教育	大森 眞 一	社会教育委員会議議長
保護者関係	池崎 江美子	市女性ネットワーク委員会委員

5. 点検・評価結果の公表等

(1) 議会への提出

点検・評価の結果について報告書を作成し、市議会に提出する。

(2) 市民への公表

報告書を市ホームページにより公表する。

6. 点検・評価結果の概要

主な事務事業の評価結果を踏まえ、施策全体の総合的な成果を、「A 期待した成果があった」、「B 一定の成果があった」及び「C 見直しや改善が必要」の三段階で評価した。

今回、点検・評価の対象とした18施策は、全て「B 一定の成果があった」であった。

(1) 総合計画における教育委員会所管の13施策

番号	施策名	評価結果	主な事務事業数	主な事務事業の評価結果		
				a	b	c
1	子育てへの支援	B	3	1	2	
2	豊かな心の育成	B	6	1	5	
3	魅力ある学校づくり	B	4	2	2	
4	国際力の育成	B	1		1	
5	多様な学習機会の支援	B	2		2	
6	市民の技と多彩な人材の育成	B	1		1	
7	地域文化活動への支援	B	4		4	
8	スポーツ・レクリエーション活動への支援	B	5	1	4	
9	犯罪のないまちづくり	B	2		2	
10	地産地消の推進	B	1		1	
11	歴史資源の保護・活用	B	5	3	2	

12	自然・観光資源の環境整備とネットワーク化	B	6	3	3	
13	広域連携・交流の推進	B	1		1	
計			41	11	30	

(2) 学校教育プラン(HEARTアッププラン)における5施策

番号	施策名	評価結果	主な事務事業数	主な事務事業の評価結果		
				a	b	C
14	H 健やかな体はぐくみプラン	B	3		3	
15	E 開かれた学校づくりプラン	B	3	2	1	
16	A 確かな学力向上プラン	B	3	1	2	
17	R 豊かな心はぐくみプラン	B	3	1	2	
18	T 教職員の資質向上プラン	B	3		3	
計			15	4	11	

. 施策別点検・評価

別紙「教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)」による。

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	子育てへの支援		担当課	教育総務課・生涯学習課・図書館		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第1項	未来を拓く人づくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域で安心して子どもを産み育てられるよう、地域ぐるみの子育て支援体制の充実を図る。</li> <li>・経済的支援や相談体制など、子育て家庭への支援対策の充実を図る。</li> <li>・絵本を通して親子が心ふれあうひとときをもつきっかけをつくる。また、幼少の早いうちから本に親しんでもらう。</li> </ul>					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化や少子化、高度情報化など子どもを取り巻く社会環境は大きく変化し、子育てへの不安が社会問題となっている。安心して子育てができる環境や子育て家庭へのよりきめ細やかな支援など、少子化・人口減少対策の一環として、地域ぐるみの子育て支援の一層の充実を図る必要がある。</li> <li>・子育て世代の経済的負担を軽減するため、市立幼稚園に通う第3子以降の園児について、保育料を全額免除している。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	放課後子ども教室推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後の小学生の活動場所として、ボランティアが子どもたちの安全を見守り、子どもたちが自由に安心して遊べる環境をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全小学校区(17小学校区)で放課後子ども教室を実施し、うち10小学校区で週1回、7小学校区で週2回実施した。実施回数743回、参加児童数603人、ボランティア登録人数は256人であった。</li> <li>・市内の全小学校区で実施し、対象児童の82.8%が参加した。</li> </ul>			b
	市立幼稚園保育料の第3子以降無料化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園に通う園児が第3子以降にあたる場合、保育料の全額免除。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・84名の減免申請があり、減免を認定した。</li> </ul>			a
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	放課後子ども教室推進	放課後子ども教室への参加率(%) (参加人数/対象人数)	71.9	77.5	82.8	b
	市立幼稚園保育料の第3子以降無料化	減免認定者数		103	84	a
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一部の小学校区では、ボランティアの人数が少なくなっている。事業の一層の充実を図るためにも、ボランティアへの協力者を確保する必要がある。また、更なる事業内容の充実を図るため、運営委員会や学校、ボランティアとして活動されている地域の方々の意見等を踏まえ、事業内容の検討をしていく。</li> <li>・第3子に限らず子育て世代は、経済的な負担が大きいため、経済的支援の充実を図る必要がある。平成24年度より市立幼稚園に兄弟で2人以上就園している場合、2人目の保育料を月3,000円減免する。</li> <li>・ブックスタート事業は、平成22年度から実施しているが、PRに努め対象赤ちゃんに兄弟姉妹と同じ絵本が贈呈されないよう選書に配慮し、贈呈率の向上を図る。また、おはなし会やその他の図書館行事にも足を運んでもらい、幼少の早い時期から本に親しめるよう継続していく。家族みんなが本に興味を持ち、読書環境をつくることによって図書の利用向上を図れるよう推進していく。</li> </ul>					
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立幼稚園保育料の第3子以降無料化は、目的が少子化対策(子育て支援)であるならば、申請方式を採らずに、最初から減免措置しても良いのではないかと考える。</li> <li>・ブックスタート事業は、絵本を通じた親子の心のふれあいや幼児期から本に親しむきっかけづくりのために、今後も積極的に進めてほしい。</li> </ul>					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	豊かな心の育成		担当課	教育総務課・生涯学習課・生涯学習センター・市民交流センター
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる	第1項	未来を拓く人づくり
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが感性を磨き豊かな創造力を身につけられるよう、音楽や芸術活動、読書活動を推進する。</li> <li>科学の好きな子どもを育てる。</li> <li>市民の総意を結集し、連帯と協調によって青少年の健全育成を図る。</li> </ul>			
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生に楽器演奏や演劇等を鑑賞させることにより、芸術への関心をたかめさせ、感動の心、豊かな情操を涵養し、健全な青少年を育成していく。</li> <li>児童・生徒の読書活動を推進するため学校図書館の充実を図っている。</li> <li>現在、小学校や中学校で「理科離れ」が進んでいると言われていたが、小さい段階から自然や科学の現象に触れたり、体験を通して理科の好きな子を育てるのが課題である。</li> <li>少子化や高度情報化、都市化など青少年を取り巻く社会環境が激変する現状の中で、青少年を取り巻く生活環境は悪化の傾向にあり、青少年による衝動的な犯罪や陰惨な事件が発生している。このような青少年を取り巻く問題に対処するためには、学校や関係団体、関係機関との連携・協力を図りながら、家庭や地域社会における教育力の向上に努め、優れた地域資源や人材を活用して、郷土常陸太田市への愛着を持った青少年健全育成を推進する必要がある。</li> <li>音楽をとおした感性や創造力の育成のため、ミュージックセミナー開催事業・グランドピアノ開放事業を行っている。</li> </ul>			
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果	評価
	小学生・中学生芸術鑑賞教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学5・6年、中学1・2年を対象に市民交流センターにおいて楽器演奏や演劇等を鑑賞する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術への関心を高めさせ、感動の心、豊かな情操を涵養している。</li> </ul>	b
	学校図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>文部科学省の設定している学校図書館の図書標準冊数(学級数により異なる)を達成するため、計画的に図書を購入している。</li> <li>小学校の学校図書館へ専任司書を配置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校図書館の図書標準については、小学校で17校中15校、中学校では8校全部が達成することができた。また、専任司書は新たに4校に配置し、小学校17校中10校への配置を行い学校図書館の充実を図っている。</li> </ul>	b
	子ども科学クラブの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども科学クラブ実行委員会を開催し年10回の教室を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>予想以上の参加申込みあり、参加した児童たちは、楽しみながら科学の実験や体験をすることができた。</li> </ul>	a
	青少年健全育成市民の会	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の総意を結集し、連帯と協調によって青少年の健全育成を図る。</li> <li>環境、家庭、育成部会による事業を実施するほか、地区協議会、町推進委員会による事業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の会表彰要綱に基づく表彰(団体2組、個人16名)・機関紙『グリーンネックレス』の発行(2回)・家庭の日絵画、標語等募集(応募総数484点)・青少年主張作文募集(表彰236作品)・家庭の日推進講演会(参加者数250人)・市内巡回パトロール(2回延12人参加)・視察研修(参加者数17人)・青少年の主張弁論大会(参加者数280人)・秋のキャンプ(参加者数41人)・『あいさつ・声かけ運動』等街頭キャンペーン(3回104人)</li> </ul>	b
	ミュージックセミナー開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民吹奏楽団との共催により、一流の講師を招いて管・打楽器の個人セミナーと団体セミナーを開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人セミナーは、管・楽器8部門について全5回のレッスンを実施し、団体セミナーは、市内中学校と高等学校の吹奏楽部が1~2回参加した。</li> <li>市内中学校4校が県北地区コンクールで優秀賞を受賞し県大会に出場するなど成果を挙げている。</li> </ul>	b
グランドピアノ開放	<ul style="list-style-type: none"> <li>大ホールに設置のグランドピアノ2台を開放し音楽に対する感性を培うとともに技術向上のために寄与する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>17名参加を得て本格的演奏を体験してもらうことができた。当初4期12日間で予定したが、震災の影響により会場が被災し、第1期、第2期分が開催できなかった。</li> </ul>	b	

成果を示す 主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	小学生・中学生芸術鑑賞教室	参加した児童生徒数(人)	0	2,168	2,036	b
	学校図書館の充実	図書標準達成校数(校)	19	20	23	b
	子ども科学クラブの開催	開催回数(回)		10	10	a
	青少年健全育成市民の会	市民の会主催事業の参加者数(人)	1,798	1,498	1,424	b
	ミュージックセミナー開催	セミナーの受講者数(団体含む)(人)	466	493	465	b
	グラントピアノ開放	開放の参加者数(人)	59	37	17	b
	施策の 総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要
課題と 今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度に小・中学校それぞれ「芸術鑑賞教室実施計画」を作成したので、鑑賞内容が偏らないよう計画的に実施していく。</li> <li>・平成24年度には小学校全校に専任司書が配置されるため、これまで以上に司書教諭と連携し、より魅力ある学校図書館を運営していく。</li> <li>・子ども科学クラブ事業は、参加申込み人数が受入れ人数を上回っていることから、如何に多くの児童を受入れられる体制を整備するかが今後の課題である。また、低学年から高学年までを参加対象にしていたが、実験内容が低学年には難しいものもあることから、小学3年生以上の児童を対象とした。</li> <li>・青少年健全育成に対する市民ひとり一人の意識を高めていくことが課題である。青少年の健全育成の推進を図るためには、青少年健全育成市民の会をはじめとし、学校や地域、関係団体等との連携・協力が不可欠であるので、今後も関係機関等との連携強化を進めながら、各種事業の充実化や各種推進運動の普及を推進する。</li> <li>・ミュージックセミナー開催事業は、レッスンセミナーとして定着し成果を挙げていることから、今後も継続していく。しかし参加者は、児童・生徒数の減少に伴い年々減る状況にある。</li> <li>・グラントピアノ開放事業は、本年度より参加者からワンコイン(500円)を負担してもらい実施した。震災の影響による会場被災等から参加者は低調であったが、今後も参加者の増が見込まれることから開催回数を増やしての計画を予定していく。</li> </ul>					
教育行政 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館は、魅力ある学校図書館をつくるため、司書教諭と専任司書が連携を図りつつ、環境づくりや読書活動を行ってほしい。</li> <li>・子ども科学クラブは、人気があることから、是非とも継続・拡大を図ってほしい。</li> </ul>					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名		魅力ある学校づくり	担当課	教育総務課		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第1項	未来を拓く人づくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりを生かすきめ細やかな教育を推進する。</li> <li>学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。</li> <li>教職員の資質向上を図る。</li> <li>学校の適正規模の確保や教育施設の整備など、より良い教育環境の充実を図る。</li> </ul>					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童、生徒及び園児の数は、少子化により減少し、それに伴う学級数の減少で学校・幼稚園の小規模化が進んでいる。</li> <li>賀美小学校で複式学級が開設されており、世矢・久米・郡戸・水府・里美の各幼稚園でも混合保育が実施されるなど、これらをできるだけ解消していくことが課題となっている。</li> <li>校(園)舎及び屋内運動場の耐震補強工事や改築工事には、多額の経費を要する。</li> <li>園児及び児童・生徒の安全確保や通学時間の短縮のため、また、幼稚園統合による園児の通園手段を確保するため通園・通学バス等を運行する。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	学校統廃合	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子化の影響で、園児・児童生徒数が減少し小規模化している。</li> <li>小中学校等における仲間づくりや教育内容の質的な充実を図るために、適正規模を確保し、より良い教育環境を整えていく必要がある。</li> <li>このため将来的な園児・児童生徒数の推移や地域の地理的・歴史的な成り立ちによる生活圏等に配慮した市の全体的な適正配置に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>瑞竜小学校については、平成24年度から誉田小学校と統合することが決まった。</li> <li>佐都小学校と河内小学校についても、平成24年度から機初小学校と統合することが決まった。</li> <li>小里小学校と賀美小学校の統合、南中学校と北中学校の統合については、市の統合方針案を示し、各PTA役員との協議により推進を図った。</li> </ul>			a
	峰山中学校校舎建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽校舎(築後52年経過)の改修(校舎改築工事: H21年度~22年度)により快適な教育環境の充実と地震等非常時の生徒等の安全確保を図る。</li> <li>構造: 鉄筋コンクリート造</li> <li>階数: 地上2階</li> <li>延床面積: 4,886.80㎡</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校舎建築については、平成23年1月に竣工し、平成23年度は旧校舎の解体を行った。予定していた外構工事については震災の影響により、平成24年度施工となる。</li> </ul>			b
	学校施設耐震診断・耐震改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園及び小中学校の校(園)舎・屋内運動場の耐震診断を行い、改修が必要な施設の耐震改修工事を行う。なお、耐震改修は、平成27年度までに行うこととしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断は、9校(小学校6校・中学校3校)の屋内運動場と幼稚園園舎1園を実施した。</li> <li>耐震改修の実施設計は、中学校3校(5棟)について行った。</li> <li>耐震改修工事については、瑞竜中学校教室棟、機初小学校管理教室棟及び誉田小学校教室棟の3棟を実施した。</li> </ul>			a
	通園・通学バス運行	<ul style="list-style-type: none"> <li>園児及び児童・生徒の安全確保、通学時間の短縮を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>のぞみ・幸久・水府・里美幼稚園及び機初・誉田・金砂郷小学校の一部の園児・児童を送迎を業者委託により行った。</li> </ul>			b
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	耐震診断	耐震診断実施(校)	1	10	10	a
	耐震改修	耐震改修工事実施済(校)	0	0	3	b
	通園・通学バス運行	園児・児童・生徒の乗車人数	132	128	107	b

施策の 総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要
課題と 今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校等の統廃合については、市の統合方針(案)に基づき、積極的に関係者と調整を図り推進する。</li> <li>・耐震化診断・耐震改修については、平成23年度までに主な小中学校校舎・屋内運動場の耐震診断が終了した。続いて順次耐震改修実施設計を行い、平成27年度までにすべての小中学校において耐震化を完了させる。</li> <li>・通園・通学バスについては、園児が減少している中、運行コストが上がっているためコストの抑制を図っていく必要がある。</li> </ul>		
教育行政 評価委員 による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校等の統廃合は、少子化等の影響により避けては通れない課題と認識している。統合して良かったと思われるような学校経営を目指し努力してほしい。</li> <li>・また、学校等の統合に際しては、今後も足の確保(通学バスの運行)を図ってほしい。</li> </ul>		

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	国際力の育成		担当課	教育総務課		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第1項	未来を拓く人づくり				
施策の目標	・中学生の海外派遣の充実を図る。					
現状と課題	・中学生に広い視野と国際感覚を養うため海外研修派遣を実施している。					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	中学生海外研修派遣	・中学2年生を対象に、オーストラリアにおいて、海外研修を実施。学校訪問による授業体験ホームステイ、施設見学等を行う。	・中学生に英語や国際社会への関心をたかめさせ、国際理解教育の推進を図ることが出来た。			b
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	中学生海外研修派遣	インタラクティブフォーラム県大会出場者数	0	1	1	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	・中学生の広い視野と国際感覚を養うため、研修内容の充実を図りながら実施していく。					
教育行政評価委員による意見	・海外研修という貴重な体験を周囲に伝えるための場づくりも大切ではないかと考える。 ・事業の継続性や発展性を持たせるためには、常陸太田ロータリークラブや常陸太田ライオンズクラブ等と協議することも有効ではないかと考える。					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	多様な学習機会の支援		担当課	生涯学習課・生涯学習センター		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第2項	楽しい人生の生きがいづくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民のニーズやまちづくりと連携した学習内容や機会の充実を図る。</li> <li>市民に地域資源を活用した学習機会を提供し、エコミュージアムの推進を図る。</li> </ul>					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における社会教育・生涯学習の拠点として設置された公民館において、市民の教養の向上や生活文化の振興を図ることができるように、各分野にわたる公民館活動の活性化を推進しているが、各地区の人口や就業状況等の違いにより公民館の活動内容に大きな開きがあることから、これを平準化していくことが課題である。</li> <li>地域資源を活用した講座としてふるさとの四季にふれる自然講座や常陸太田探検隊講座等を開催している。引き続き魅力ある講座の企画が必要である。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	公民館活動活性化対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館は地域の人材や地域資源などを活用し、市民のニーズに応じた事業を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災の影響により、年度前半は使用できない公民館施設があったため、前年度に比較して利用者は減少しているが、すべて年度内に全館復旧しており、3月の利用者は前年比で2割程度増加している。</li> </ul>			b
	地域資源学習講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した歴史講座や自然講座等を開催する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域資源を活用した歴史講座や自然講座等のほか、各地区の特色を活かした講座を実施し地域の素晴らしさを学ぶことができた。</li> </ul>			b
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	公民館活動活性化対策	公民館事業参加者数(人)	40,472	51,842	49,048	b
	地域資源学習講座	参加者数(人)	383	439	370	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館活動全体のさらなる活性化とともに活動レベルの平準化を図ることが課題である。公民館職員を対象とした研修会を行い個々の資質の向上を図るとともに、地域住民のニーズを的確にとらえた学級、講座等の企画・運営を行ない事業レベルの底上げを行なっていく。</li> <li>各地域の特色を生かしたエコミュージアム体験講座の企画が今後の課題である。引き続きアンケートなどを基に内容や開催場所、日時等についても検討していく。</li> </ul>					
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館のハード面は、整備つつあるが今後も継続してほしい。</li> <li>公民館の活動活性化は大切なことと考えるが、平準化する必要は無いのではないかと考える。(むしろ地域の特色を活かすことが大事。)また、延参加人数は増えていることから、実参加人数を増やすことが今後の課題ではないかと考える。</li> </ul>					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	市民の技と多彩な人材の育成		担当課	生涯学習センター		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第2項	楽しい人生の生きがいづくり				
施策の目標	市民の生涯学習に対する意識を高めるとともに、市民一人ひとりの自主的学習を促進し、生涯学習の一層の振興と地域の活性化を図る。					
現状と課題	各地区において、特色を生かした生涯学習フェスティバル等を開催しているが、参加団体が少なくなっている地区がある。 生涯学習センター(2月開催:生涯学習フェスティバル) 金砂郷学習センター(11月開催:芸術文化の祭典inかなさごう) 水府学習センター(11月開催:水府地区きらめきフェスティバル) 里美学習センター(11月開催:里美文化祭)					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	生涯学習フェスティバル等の開催	各学習センターにおいて、それぞれ地域の特色を活かした生涯学習成果発表会を実施する。	参加者には、日頃の生涯学習の成果の発表をすることにより、更なる学習意欲の高揚になっている。また、来場者には市内で活動している生涯学習サークルの紹介の場になっている。			b
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	生涯学習フェスティバル等開催	参加団体数	233	222	190	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	参加団体、来場者の少なくなっている地区については、いかに生涯学習団体を育成していくかが課題である。生涯学習団体の育成については、今後、施設活用と併せた各種教室の開催や関係各課と検討を進める。 平成23年度は、震災の影響により参加団体等が減少したものと考えられる。					
教育行政評価委員による意見	フェスティバルは参加者が減少傾向にあることから、生涯学習という概念から「市民の技と多彩な人材の発表の場」としての事業展開を図る時期にきているのではないかと考える。					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	地域文化活動への支援				担当課	市民交流センター		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる						
	第2項	楽しい人生の生きがいづくり						
施策の目標	市民の芸術や文化活動、教養を高める自主的な活動を活発化するため、活動や発表の場を提供する。							
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主企画事業は、市民等が親しみ、楽しめる芸能・芸術鑑賞機会や市民参加型事業を提供している。</li> <li>ロビーコンサートは、市内在住及び市出身の音楽家等の発表の場、市民等が無料で親しめるコンサートとして年に数回、休日の午後で開催している。</li> <li>市の助成により、市内の音楽関係団体や芸能文化団体が一堂に会した発表を行い、市民に鑑賞や発表の機会を提供している。来場者についても実績を上げている。</li> <li>市民の芸術文化活動の発表の場として、市美術展覧会、ひたちおおた芸能祭等の文化事業を開催している。</li> </ul>							
事務事業の成果と評価	事業名	概要			主な成果		評価	
	自主企画	当初、自主・共催事業併せて8事業10公演を実施する。			入場率は64.1%と昨年より率は低下した。震災の影響により大ホールが被災し、6事業8公演の実施に至った。		b	
	ロビーコンサート	出場グループを募集しコンサートを実施する。			年間8組のグループが出場し、来場者525名と身近なコンサートとして大好評を得た。		b	
	美術展覧会開催	市民等の日頃からの創作活動の成果発表の場として、小中学生・一般の部に分けて美術展覧会を開催する。			市民等の日頃からの創作活動の成果発表の場として意義があった。		b	
	文化振興補助(芸能祭ほか)	補助対象団体によりコンサートや芸能祭を開催する。			市の芸能文化の振興に寄与できた。多くの出場者や来場者があり、市民等の大きな支援を得ている。		b	
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)			H21	H22	H23	評価
	自主企画	事業の入場者数(人)			7,334	7,396	4,931	b
	ロビーコンサート	来場者数(人)			670	545	525	b
	美術展覧会開催	一般の部出品点数(件)			201	218	238	b
	文化振興補助(芸能祭ほか)	来場者数(人)			3,000	3,000	3,000	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要			
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>入場率の上がないクラシック・演劇等の自主企画事業は、PR図るとともに補助事業や共催事業の導入も検討していきたい。</li> <li>ロビーコンサートは、地域音楽家の発表の場、身近なコンサートとして定着していることから、今後、更に開催回数を増やしていきたい。</li> <li>美術展覧会、芸能祭等の芸術文化事業は、市民にとって日頃の活動成果を発表する場として意義あるものであり、今後も継続して実施していきたい。</li> </ul>							
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロビーコンサートは、身近で気軽に文化に触れることのできる貴重な機会であることから、積極的に進めてほしい。</li> <li>自主企画事業は、入場率だけにとらわれることなく、今後も市民に幅広く質の高い芸能・芸術鑑賞の機会を提供して欲しい。</li> </ul>							

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	スポーツ・レクリエーション活動への支援		担当課	スポーツ振興課		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第2項	楽しい人生の生きがいづくり				
施策の目標	・子どもから高齢者や障害者まで、誰もがいつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しめるよう環境整備を進める。					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由時間の増大や健康志向の広がりなどに伴い、市民の誰もが体力や年齢などに応じてスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう各種の教室や大会を開催するとともに、こうした活動に適切な指導・助言ができる指導者の養成・確保に努めている。</li> <li>また、運動習慣のきっかけづくりとしてチャレンジデー、市民健康スポーツデーを取り組み、体育協会支部等との連携を図りながらスポーツ実施率の向上に努めている。</li> <li>平成21年度に市のモデルケースとして設立された鯨ヶ丘スポーツクラブは、活動を側面的に支援しながら、新たな組織の設立を推進する必要がある。</li> <li>体育施設は合併前において各種の制度を活用し運動広場や野球場、体育館、プールなどが整備されてきましたが老朽化が進んでいる施設が見られる。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	各種スポーツ大会の開催	・市民の体力づくり、競技力向上のために各種スポーツ大会を開催する。	・市長杯軟式野球大会、西金砂登山マラソン大会などを開催、東日本大震災の影響により参加者(チーム)が減少した大会もあったが登山マラソン、駅伝大会は増加し、交流人口の増加、市のPRができた。			b
	市民体力づくり推進	・市民の健康づくりや体力づくりを目的として、運動習慣づくりの啓蒙広報及び各種スポーツ教室を開催する。	・巡回スポーツ教室、健康スポーツデー、チャレンジデー等を取り組む。巡回スポーツ教室はグランドゴルフ大会の参加者増につながった。			b
	総合型スポーツクラブ支援	・市民がスポーツ活動・文化活動を楽しみ実践することにより、市民の健康増進、交流機会充実を図るため、平成21年度に設立された鯨ヶ丘スポーツクラブを支援する。	・平成23年度補助金300,000円 ・鯨ヶ丘スポーツクラブ会員数 127名 ・スポーツ・カルチャー教室7教室 ・イベント4回開催 ・回数 延152回 参加人員 2,392名			b
	スポーツ施設整備	・市民が安全・安心にスポーツ・レクリエーションに親しめる施設環境の整備を進める。	・東日本大震災により被災した市民体育館、テニスコート復旧工事、施設の除草・清掃			b
温水プール運営	・市民の健康増進を図るため、民間のノウハウを活用した指定管理制度による運営を行う。	・東日本大震災により近隣の屋内プールが閉鎖中のため、本施設の利用が多くなった。利用者から要望の多い水泳教室を拡大した。			a	
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	各種スポーツ大会の開催	参加者数(人)	4,016	4,292	4,231	b
	市民体力づくり推進	参加者数(人)	22,768	23,164	19,214	b
	総合型スポーツクラブ支援	クラブ数	1	1	1	b
	スポーツ施設整備	体育施設利用者数(人)	243,553	226,003	195,263	b
	温水プール運営	温水プール利用者数(人)	47,128	44,664	58,061	a
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	

<p>課題と 今後の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民がそれぞれの年齢や体力に応じてスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加し、楽しむことができるよう各種事業を推進する。</li> <li>・市民の健康・体力づくり活動を通して、地域コミュニティの活性化を図るため、生涯スポーツ組織の育成に努める。</li> <li>・市民が身近な地域で気軽にスポーツに親しむ環境づくりを進めるため、総合型地域スポーツクラブを支援する。</li> <li>・老朽化した施設については、施設整備計画を策定し緊急性の高いものから計画的に改修する。</li> <li>・民間のノウハウ、経験を活かしたスポーツ施設の管理運営を進める。</li> </ul>
<p>教育行政 評価委員 による意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ推進委員・市体育協会は、それぞれの立場で市民の体力づくりのために努力されており敬意を表す。</li> <li>・今後も、関係団体等との連携を図り、誰もがいつでも、どこでも、いつまでも気軽に楽しくスポーツ・レクリエーションに親しめるよう環境整備を進めてほしい。</li> </ul>

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	犯罪のないまちづくり				担当課	教育総務課
総合計画における位置づけ	第2章	「安らぎのある快適環境」をつくる				
	第3項	安全安心なまちづくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の子どもの安全確保対策を強化する。</li> <li>多発、巧妙化する子ども対象の事件への未然防止を図る。</li> </ul>					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校、幼稚園より要望のあった通学路の危険箇所について、歩道やガードレール等の整備を関係課と協議し整備要望を行っている。</li> <li>子どもの安全確保のため、「こどもを守る110番の家」の拡充、地域子ども安全ボランティアとの連携強化により、地域ぐるみの防犯活動を推進する。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	通学路安全対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校より改善要望のある通学路の危険箇所について、関係機関への整備要望を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の危険箇所を点検・整備することにより、児童・生徒、園児の安全確保が図られた。</li> </ul>			b
	子どもの安全対策強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>登下校時の児童生徒の安全を確保するため、地域住民や保護者等による地域子ども安全ボランティアの登録を推進し、子どもたちの見守りを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者や地域住民が、地域子ども安全ボランティアとして、登下校の見守りや、あいさつ・声かけ運動を行うことにより子どもの安全確保が図られた。</li> </ul>			b
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	通学路安全対策	危険箇所の改善件数(件)	3	12	15	b
	子どもの安全対策強化	地域子ども安全ボランティア会員数(人)	814	800	767	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と危険箇所の合同点検を実施し、危険箇所を効果的に改善を行っていく。</li> <li>地域子ども安全ボランティアとの連携を密にし、組織の強化を図るとともに、会員数が減少傾向にあるため、増加促進を図る。</li> </ul>					
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の危険箇所については、関係機関に働きかけながら、今後も積極的に改善を図ってほしい。</li> <li>地域子ども安全ボランティアや保護者の方々のおかげで、子どもたちの安全確保が図られている。今後も子どもたちを犯罪や事故から守るため、連携を密に取り組んでほしい。</li> </ul>					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	地産地消の推進		担当課	学校給食センター		
総合計画における位置づけ	第3章	「まちの元気」をつくる				
	第1項	地域を支える産業の元気と働く環境づくり				
施策の目標	・学校給食において地場産物を利用拡充し、地産地消の更なる推進を図る。					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食における地元産食材の利用状況は、米、豆腐、醤油、こんにゃく等は全て地元産を使用している。</li> <li>・長ネギ、白菜、キャベツを中心に多く取り込んでいるが、その他の食材も伸ばしていく。</li> <li>・生産団体等年間納入計画を立て契約的栽培の下で安定した供給が出来るよう実施している。(課題)</li> <li>・生産体制の確立及び整備に取り組んでいるが、種類(作物)や納入量の確保ができない。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	地産地消の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元食材にこだわった特別メニューで児童生徒への地域理解を高める。</li> <li>・米粉パン月2回にし地元産コシヒカリ消費拡大と安定した給食の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・率先した地場産食材の取組が出来た。</li> <li>・米粉パンは児童生徒に好評である。</li> <li>・学校訪問、センター見学等で児童生徒への食材の正しい理解が出来た。</li> </ul>			b
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	地産地消の推進事業	学校給食での地場産物の使用割合(%)	53	51	54	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地場産食材はJA(茨城みずほ)から定期的に納入できること及び、生産団体との連携の下で計画的な生産量の確保されることで安定した給食が賄える。</li> </ul>					
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米粉パンは美味しいと聞く。生産団体と連携しつつ、地場産食材の活用拡充を図り地産地消を進めてほしい。</li> </ul>					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	歴史資源の確保・活用		担当課	文化課		
総合計画における位置づけ	第3章	「まちの元気」をつくる				
	第2項	地域ブランドと交流空間づくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財の活用を積極的に進めることで、市民が文化財をもっと身近に感じ、その重要性和保護の必要性を啓発する。</li> <li>市民との協働により、文化財の保護・活用体制の充実を図る</li> <li>文化財の整備を進め、後世に伝えていくとともに、地域の資源として積極的な活用を図る体制をつくる。</li> <li>郷土資料館では市民のニーズに応じた展示を行い、ふるさと常陸太田を愛する心を醸成する。</li> </ul>					
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>所有者が主体となって整備事業に取り組み国、県、市が補助をしながら進めているが、多額の費用を必要とし、所有者の負担が大きい。特に、22年度より水戸徳川家墓所の整備が着手され、市としての費用負担と事務量が増大してきた。</li> <li>また、災害復旧事業も進行しているが、国からの補助金交付決定が遅れたこともあり、進捗率は悪い。</li> <li>指定文化財については公開の体制が確立され、地域と協働による公開も行われ、徐々に住民へも浸透してきている。</li> <li>埋蔵文化財専門職員が配置されていることで、国庫補助事業の採択を得ている。</li> <li>郷土資料館の改修にあたっては、国庫補助事業の採択を受け、計画策定・改修設計・改修及び耐震補強を3か年計画で進める。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	指定文化財公開推進	指定文化財集中曝涼の開催	市外1か所を含む11か所で公開 延2,188名が来場 地域主導の公開5か所			b
	文化財保護普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財ガイドブック・絵はがきの販売</li> <li>文化財ガイドマップの配布</li> <li>出前講座の開催</li> <li>文化財解説板の更新</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財ガイドブック販売203冊</li> <li>文化財絵はがき販売113組</li> <li>出前講座8回開催</li> <li>水府地区解説板更新7か所</li> </ul>			a
	指定文化財保存整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐竹寺周辺環境整備</li> <li>西山荘御文庫保存整備</li> <li>市内遺跡調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発に伴う試掘2か所</li> <li>大里地区古代官道確認</li> <li>市内遺跡調査報告書発行</li> </ul>			a
	郷土資料館整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>梅津会館保存活用計画策定</li> <li>緊急雇用を活用した資料整理作業</li> <li>旧法務局、梅津会館新館耐震診断</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保存活用計画策定委員会4回開催</li> <li>古写真のデジタル化作業</li> </ul>			a
指定文化財等災害復旧事業	災害により被災した指定文化財の修復・復旧	水戸徳川家墓所、木造薬師如来坐像、佐竹寺、西山荘、旧町屋変電所、郷土資料館分館の災害復旧			b	
成果を示す主な指標	指標名(単位)		H21	H22	H23	評価
	指定文化財公開推進	指定文化財集中曝涼延べ来場者数	4,830	3,762	2,188	b
	文化財保護普及啓発	文化財ガイドブック有償頒布数	699	325	203	b
	郷土資料館企画展開催	企画展開催期間中の1日平均入場者数(人)	33	22	-	c
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定文化財集中曝涼では、2日間とも天気が悪く、特に初日が雨天だったため来場者が減少したが、地域中の運営体制が増え、物販により地域の経済活動の役割も果たしてきている。また、国登録文化財の賀美発電所でもはじめて行ったところ、見学者からも所有者からも好評であったので、公開場所の増を引き続き推進する。</li> <li>文化財ガイドブックは引き続き好評であり、残部が少なくなったので24年度に改訂版を作成する。絵はがきは販売が少なく、その販売方法について検討する必要がある。</li> </ul>					

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館は、今後の耐震補強を含めた改修にあたって、国からの新規補助事業を受けることができ、委員会を開催してその活用方法の方向性を策定した。今後2か年計画で実施設計と改修を実施予定である。</li> <li>・指定文化財の災害復旧にあたっては、国からの補助金の交付決定が年末までずれ込んだことから、十分な事業を進めることができなかった。水戸徳川家墓所は6か年、他はH24での事業完了を目指す。</li> </ul>
<p>教育行政 評価委員 による意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の解説板は、わかりやすく統一性のある設置を望む。</li> <li>・水戸徳川家墓所は、災害復旧後に一般公開の再開を所有者に働きかけてほしい。</li> <li>・歴史資源の活用という観点で言えば、地元の歴史的な人物を題材としたドラマ化は出来ないものかと考える。 (例:佐竹家の大河ドラマ化など)</li> </ul>

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	自然・観光資源の環境整備とネットワーク化		担当課	文化課		
総合計画における位置づけ	第3章	「まちの元気」をつくる				
	第2項	地域ブランドと交流空間づくり				
施策の目標	・社会構造の変化や個人意識の多様化に伴い、地域コミュニティの衰退や地域の伝統文化等の風化が危惧されていることから、エコミュージアム活動により地域づくりに取り組む市民の自立性が喚起され、地域の良さや誇り、愛着を再認識し、温もりのあるコミュニティの醸成を図り、更には、地域の人や資源を活かした地域活動(環境整備や交流活動、生産及び経済活動)を推進し、次の世代に引き継ぐことを目的とする。 ・第24回巨木を語ろう全国フォーラム茨城・常陸太田大会を通じて当市を発信する。					
現状と課題	エコミュージアム活動 (現状) 地域住民が主体となって、地域資源を認識し、暮らしや地域を見つめ直し、地域への愛情と誇りを持てる活力ある地域づくりを、地域主体で市民主導型の活動となるように支援している。 (課題) エコミュージアム活動推進委員会の活性化を図る。 エコミュージアム活動への更なる市民参加の向上を図る。 巨木を語ろう全国フォーラム (現況) 1 開催日 平成23年10月29日(土)・30日(日) 2 場所 常陸太田市民交流センター(大ホール) 3 内容 第1日目 全国巨樹・巨木林の会総会支援、全国フォーラム、交流会(会費制) 第2日目 巨樹めぐりツアー(4コース) 4 その他 巨樹モニュメント製作は、市内高校生が手がけ、事業本体については、実行委員会を設立し、県内の巨樹関係者、樹木医、まちかど案内人の会等による市民協働のスタイルにより事業実施を試みた。					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	地域訪問による啓発活動	・エコミュージアム(地域全体が博物館)の理念や概念の推進をする。	・地域の会議へ同席し、説明会等の実施及び来庁者に対してのエコサロンの説明の実施。			b
	地域資源の探索、地域交流	・地域の人や資源を活かした地域活動(環境整備や交流活動、生産及び経済活動)を推進する。	・地域の見直しやコミュニティの醸成が図られた。			b
	地域交流事業の支援、地域活動の支援	・事業の進め方の相談や助言、講師の紹介。	・地域が主体となるような活動が増えている。			a
	全国フォーラム	・活動報告、ミュージカル(瑞竜小)、パネルディスカッション	・入場数 1,200名			a
	巨樹めぐりツアー	・4コース	・参加者180名			b
おもてなし	・地域住民によるおもてなし(昼食、茶菓提供など)	・3地域、1団体			a	
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	エコミュージアム活動	エコミュージアム活動の推進	15	11	12	b
	第24回巨木を語ろう全国フォーラム茨城・常陸太田大会	総会支援、全国フォーラム、交流会、ツアー	-	-	-	a
施策の総合評価	A 期待した成果があった	B 一定の成果があった	C 見直しや改善が必要			

<p>課題と 今後の方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコミュージアム事業は、地域が主体となるような中長期的な展望にたったものであり、生活に密着した循環型社会の構築を目指し、積極的に推進する必要性がある。</li> <li>・また、職員による積極的な地域訪問や説明会を基本としているが、情報媒体を利用した活動の紹介や地域間交流活動の新たな展開を推進したい。</li> <li>・今後は、エコミュージアム活動を継続している地域の広域的なエコミュージアム活動の展開の支援を行うこと、そしてエコミュージアム活動を取り組んだ地域への支援もあわせて検討していきたい。</li> <li>・巨木を語ろう全国フォーラム事業は、広告事業としては、成功裏に終わったといえる。しかし、一方では課題が浮き彫りになった。</li> <li>道路の幅員が狭いため大型バスによるツアーができなかったことやトイレ・駐車場の問題、宿泊所(シングルなし)の問題などがあげられた。ただ、この事業終了後は、春の桜の開花などの問合せなどが多く、秋の紅葉シーズンも増える見込みがある。</li> <li>本事業は、全国的な交流が図られたと考えられるため、今後、常陸太田市へ訪れる方が増えることに期待したい。</li> </ul>
<p>教育行政 評価委員 による意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコミュージアムというネーミングは、継続的な取り組みにより浸透しつつある。関係者の努力に敬意を表す。</li> <li>・巨木フォーラムや巨樹めぐりツアーのように周辺の自然で人を呼ぶができることを改めて知ることができた。今後も市発展のために、身近な自然を有効に活用してほしい。</li> </ul>

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	広域連携・交流の推進		担当課	図書館		
総合計画における位置づけ	第3章	「まちの元気」をつくる				
	第2項	地域ブランドと交流空間づくり				
施策の目標	・5市(日立市,高萩市,北茨城市,福島県いわき市,常陸太田市)の図書館の条例・規則等の定めるところにより,貸出その他の広域利用に必要な事業を行う。					
現状と課題	・5市の協定を締結して,平成23年7月から実施している。広域利用カードを作製し,利用市立図書館へ登録して図書資料の貸出を行っている。隣接市の利用が多いので,今後は隣接市町村との相互利用を進めていきたい。					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	公共図書館広域相互利用	・5市(日立市,高萩市,北茨城市,福島県いわき市,常陸太田市)の図書館が,広域利用協定市の利用者にそれぞれ図書資料の貸出を行っている。	・地元の図書館へ行くのが不便だった利用者が,他市の図書を借りられるようになり,図書の利用向上が図れた。 利用カード登録者数 ...106人 *他市の利用カード登録者数 日立市.....293人 高萩市.....147人 北茨城市...68人 いわき市...280人			b
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	公共図書館広域相互利用	貸出数(冊)			1,535	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	・5市の協定を締結して,平成23年7月から実施している。広域利用カードを作製し,当市立図書館への登録者数は106人(内訳;日立市...105人,高萩市...0人,北茨城市...0人,いわき市...1人),常陸太田市民が協定市に登録している数は16人(内訳;日立市...14人,高萩市...0人,北茨城市...0人,いわき市...2人)である。今後も引き続き広域相互利用を継続していくが,更に隣接市町村との相互利用も推進していく。					
教育行政評価委員による意見	・図書利用や市民利便性の向上を図るため,今後も隣接市(那珂市や常陸大宮市など)への範囲拡大を図ってほしい。					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	H 健やかな体はぐくみプラン				担当課	指導室
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第1項	未来を拓く人づくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくましい体と自分にうちかつ心をはぐくむ。</li> <li>・礼儀を重んじ、健康や体力をはぐくむ。</li> </ul>					
学校教育マニフェスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にうちかつ心もち、心身共に健やかな子どもを育成します。</li> <li>・体力テストの結果分析を基にして、子ども一人一人にめあてをもたせ、体力の向上を図ります。</li> <li>・児童生徒の体力アップ推進プロジェクトに参加し、子どもたちが協力し合いながら運動することを通して、健やかな子どもの育成に努めます。</li> <li>・地域や学校の実態に応じた食育を推進し、健康な体づくりに努めます。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	体力・運動能力調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全児童生徒に8種目の体力テストを実施、分析することにより学校体育・健康に関する指導等の改善に役立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストの市の結果は、全国や県の平均を上回っている状況にある。</li> </ul>			b
	心と体をはぐくむ食育推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯の健康の基礎を培う学齢期に、食に関する正しい知識をもたせ、望ましい食生活へ改善していく力を身に付けさせる。また、学校における「食に関する指導」の充実を図るとともに、児童生徒の地場産物や農業への理解を促進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食センター栄養士や栄養教諭、民間ボランティア(食生活改善推進委員等)関係機関との連携及び養護教諭によるTT体制を通して、正しい食習慣、食に関するマナー等食に関する指導を実施し、成果を上げている。</li> </ul>			b
児童生徒の体力アップサポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育活動における体育・スポーツ活動(スポーツチャレンジ等)の充実を図り、生きる力の基礎として、健康で体力のバランスのとれたたくましい心と体をもった子を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校では、体力づくり推進計画を作成し、それに基づき特色を生かした体力づくりに取り組むとともに、各種大会や記録会に多くの児童生徒が参加している。</li> </ul>			b	
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	体力・運動能力調査	体力テスト総合評価(A+Bの割合・%)	71.5	63.6	64.5	b
	心と体をはぐくむ食育推進	全国学力・学習状況調査等(朝食を毎日食べている「している」・%)	90.2	90.6	-	b
	児童生徒の体力アップサポート	4段階評価の平均値(指数)	3.2	3.3	3.6	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力テストは、学年や種目等における課題も見受けられるので、児童生徒一人一人が、自分の体力向上を実感し、めあてをもって取り組める活動を推進することが大切。</li> <li>・望ましい生活習慣を身に付けるための支援を、家庭への啓発と併せて推進することが必要。</li> <li>・食に関する指導については、学校教育活動全体で行うことが求められており(全体計画及び年間計画の評価・改善)、担当者のみでなく、全教職員による共通理解と共通実践が必要。</li> </ul>					
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・笠松運動公園陸上競技場における記録会(小学校)は、子どもたちの励みになるので続けてほしい。</li> <li>・食育は、家庭における取り組みが重要となることから連携を図りつつ推進してほしい。</li> <li>・部活動を理由とする指定校変更があると聞くが、できれば学区(地域)を大切にしてほしい。</li> </ul>					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	E 開かれた特色ある学校づくりプラン		担当課	指導室		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第1項	未来を拓く人づくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織の総合力を高め、子どもの夢をはぐくむ学校づくりに努める。</li> <li>教育情報の共有化を図り、地域の教育力を生かした学校づくりに努める。</li> </ul>					
学校教育マニフェスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭・地域・教職員が一体となって子どもの夢をはぐくむ学校づくりに努めます。</li> <li>学校評価の結果や学校マニフェストの公表を積極的に行います。</li> <li>学校や家庭・地域が目標を共有し、子どもたちが学校生活の楽しさを実感できる教育活動に努めます。</li> <li>市教育委員会ホームページに、教育情報を提供します。</li> <li>地域の教育力を活用した学習活動を展開します。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	地域の教育力を生かした学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校とも保護者・地域の教育力(特色)を生かした学習活動を展開しており、社会人講師やボランティアを活用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人材を生かした学習を通して、地域の伝統文化への理解が深まった。また、地域の人々との交流を通して、社会性や他者への思いやり、感謝の心、郷土を慈しみ大切に思う心情などが育った。</li> </ul>			a
	情報収集・情報提供による教育情報の共有化	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校や家庭・地域が目標を共有し、子ども達が学校生活の楽しさを実感できる教育活動に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校とも評議委員会、民生委員協議会、三世代交流会、星の観察会等を開催し、いろいろな方々の協力や支援をいただき、地域として子どもたちを育てようとする意識が醸成されてきている。</li> </ul>			b
	学校評価と結果・改善案の公表	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校は、各々の教育プランや学校マニフェストを策定・公表し、理解・啓発に努めている。</li> <li>また、学期ごとあるいは中間期に教育活動の自己評価や学校関係者評価を行い、振り返ることでの軌道修正を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校とも学校評価の結果・改善案の公表を積極的に行い、各学校の取組やよさをアピール。説明責任を果たしている。</li> </ul>			a
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	地域の教育力を生かした学習活動	全国学力・学習状況調査等(地域人材を外部講師として招聘した授業を行ったか「行った」・%)	69.1	91.7	-	a
	情報収集・情報提供による教育情報の共有化	全国学力・学習状況調査等(保護者から意見や要望を聞くための懇談会やアンケート調査の実施[回数「年間4回以上」・%])	57.7	65.0	-	b
	学校評価と結果・改善案の公表	学校評価と結果・改善案の公表[%]	100.0	100.0	100.0	a
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校評価の啓発と公表の取組を継続することが必要である。</li> <li>学校だよりやホームページを生かした学校からの情報発信をこまめに行っていくことも大切である。</li> <li>市教育委員会としての教育情報等の提供を行っていくこと。</li> </ul>					
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も積極的に学校情報を保護者や地域に発信し、理解を深めるとともに連携を図ってほしい。</li> </ul>					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	A 確かな学力向上プラン		担当課	指導室				
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる						
	第1項	未来を拓く人づくり						
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の趣旨を生かし、基礎・基本の確実な習得とそれらの活用を通して、自ら学び自ら考えるなどの確かな学力をはぐむ。</li> <li>・情操を豊かにし、感性を高め、コミュニケーション能力をはぐむ。</li> </ul>							
学校教育マニフェスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力の定着を図り、個性を發揮できる子どもの育成に努めます。</li> <li>・子ども一人一人の学習状況を基にしたきめ細かな指導を充実します。学習内容の習熟の程度に応じたTTや少人数指導を行います。</li> <li>・基礎・基本の習得とそれらの活用を図る授業改善に努め、思考力・判断力・表現力等を育成します。</li> <li>・子ども一人一人に学ぶことの楽しさや充実感が味わえる指導方法の工夫を図り、学習意欲の向上と家庭学習の習慣化を推進します。</li> <li>・発達障害等への理解を深め、全職員で取り組む特別支援教育を行います。</li> <li>・学校・家庭・関係機関が連携し、子ども一人一人のニーズに応じた支援を行います。</li> <li>・県学力診断のためのテストで平均正答率5ポイントアップを目指します。</li> <li>・県学力診断のためのテストや全国学力・学習状況調査、特に単元・題材テストの結果を生かし、子ども一人一人に焦点をあてた指導法等の工夫・改善を図ります。(指導と評価の一体化)</li> <li>・未来を拓く常陸太田っ子育成プランを推進し、子ども一人一人の学力向上を図ります。</li> </ul>							
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価		
	きめ細かな指導のための指導法の工夫改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校では、児童生徒一人一人にきめ細かな教育を推進するために、学習内容の習熟の程度に応じたTTや少人数指導を行ったり、学ぶことの楽しさや充実感が味わえる指導方法の工夫を図ったりして学習意欲の向上と家庭学習の習慣化を推進している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価の報告「授業がわかる」90.8%</li> </ul>			b		
	全国学力・学習状況調査等の結果分析及びその活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校が、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、指導法の改善等に役立てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H23年度は東日本大震災の影響で国の調査は行われなかったが、各学校において問題を活用し、指導法の改善等に役立てた。</li> </ul>			a		
確かな学力向上プランの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の学校教育指針に基づき、各学校では「未来を拓く常陸太田っ子育成プラン」を推進し、子ども一人一人の学力向上を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な学力向上のための取組がある中、各学校は児童生徒の状況を把握し、その実態に応じて具体的な施策に取り組み、特色ある教育活動を実践している。</li> </ul>			b			
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)			H21	H22	H23	評価
	きめ細かな指導のための指導法の工夫改善	学校評価4段階評価の平均値(指数)			3.8	3.7	3.7	b
	全国学力・学習状況調査等の結果分析及びその活用	全国学力・学習状況調査(全国学力・学習状況調査を分析し、具体的な学習指導の改善に活用したか「はい」・%)			100.0	100.0	100.0	a
	学力向上育成プランの取組	学校評価4段階評価の平均値(指数)			3.8	3.3	3.3	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要			
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なTT及び少人数・習熟度別学習の実施と児童生徒の学習意欲をさらに向上させることが必要である。</li> <li>・児童生徒の視点からの授業改善と思考力・判断力・表現力等の育成。</li> <li>・単元・題材テストの結果を生かして、児童生徒の実態を多面的に捉え、学習意欲を喚起しながら学力向上のための授業改善に取り組んでいく。</li> </ul>							
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、学力向上を図るため、きめ細かで効果的な指導を行ってほしい。</li> <li>・今後のTT指導の在り方を検討するうえで、効果的に活用されているか検証する機会があると良いのではないか。(行政サイドからの評価を工夫する。)</li> </ul>							

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	R 豊かな心はぐくみプラン				担当課	指導室
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第1項	未来を拓く人づくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田の自然や伝統的な行事,生活習慣等を学ぶ機会を充実し,郷土愛をはぐくむ。</li> <li>・外国の文化や生活に慣れ親しむ活動を充実し,国際理解に努める。</li> <li>・自他の生命を尊重し,友だちを思いやる心の育成に努め,社会に貢献しようとする心をはぐくむ。</li> </ul>					
学校教育マニフェスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人・もの・自然との関わりを通して,将来の夢に向けて努力する子どもの育成に努めます。</li> <li>・心の教育を総合単元的に取り組み,家庭・地域と連携しながら,道徳的な実践力を育成します。</li> <li>・みんなに進めたい一冊の本推進事業を推進します。</li> <li>(小学校)50冊以上達成者 70%以上 (中学校)30冊以上達成者 20%以上</li> <li>・家庭や地域と連携して,みんないっしょにマナーアップ推進事業に取り組みます。</li> <li>・市子ども人権スローガンの下,人権感覚や人権意識をはぐくむ活動を展開し,いじめ等をなくす取組を充実します。</li> <li>不登校出現率0.5%以内を目指します。</li> <li>・子ども一人一人のコミュニケーションを大切に,小さなサインを見逃さないようにします。</li> <li>・子どもとのふれあいを通して,信頼関係を築きながら子ども一人一人の目標達成のための支援を充実します。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	豊かな心はぐくみプランの取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自他の生命を尊重し,友だちを思いやる心の育成に努め,社会に貢献しようとする心をはぐくむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評価の報告「学校が楽しい」92.9%</li> </ul>			b
	人権教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市子ども人権スローガンや中学校人権宣言の周知と人権意識等をはぐくむ取組を展開し,いじめをなくす取組を充実する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校とも,いじめ等を根絶するため人権教室や人権集会等を開催し,人権意識の育成に努めている。また,いじめアンケートなどもこまめに実施し,未然防止と早期発見・早期解決に努めている。</li> </ul>			b
教育相談の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人一人とのコミュニケーションを大切に,小さなサインを見逃さないようにする教育活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では,生徒指導上気になる子がいる場合に,ケース会議,チーム会議及び援助会議等を開催し,組織で取り組み,また個別面談を実施して児童生徒の悩みや不安解消に努めている。</li> </ul>			a	
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	豊かな心はぐくみプランの取組	学校評価4段階評価の平均値(指数)	3.6	3.4	3.5	b
	人権教育の推進	全国学力・学習状況調査等(いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う「当てはまる」%)	77.7	77.8	-	b
教育相談の充実充実	不登校出現率(%)	0.31	0.52	0.49	a	
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全教育活動における道徳教育の充実による道徳的な実践力を育成する。</li> <li>・人権感覚や人権意識をはぐくみ,児童生徒と教師,児童生徒同士のさらなる信頼関係づくり。</li> <li>・不登校の低年齢化や発達障害が疑われる児童生徒で登校渋りが見られるなど近年の傾向を踏まえ,不登校リスクをもつ児童生徒への一層の支援と,小さなサインを見逃さないように日々の観察や個別面談,アンケート等で一人一人の不安解消に努める。</li> </ul>					
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめの根絶を徹底してほしい。(「いじめは悪い。」ということをしっかり教える。)</li> <li>・道徳教育の時間を増やすことも必要ではないかと考える。(道徳教育を核にして,小学校段階から感覚・意識を高めていく。)</li> <li>・人権意識は,教育だけで育まれるものではないことから,「人権教室」等を活用し,きっかけづくりとして取り組んでほしい。</li> </ul>					

## 教育委員会施策の点検・評価書(平成23年度事業)

施策名	T 教職員の資質向上プラン		担当課	指導室		
総合計画における位置づけ	第1章	「輝く人」をつくる				
	第1項	未来を拓く人づくり				
施策の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く社会から尊敬され、信頼される質の高い教師の育成に努める。</li> <li>・ライフステージに応じた教職員研修カリキュラムを作成し、研修の充実に努める。</li> </ul>					
学校教育マニフェスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師力を高めるため、教育の方向性や学校の課題を踏まえた研修を行います。</li> <li>・求める研修の場として、市教育研究所研修講座に積極的に参加し、授業力の向上に努めます。(参加者 650名以上)</li> <li>・職務の効率化を図り、子どもと向き合う時間の確保に努めます。</li> <li>・市教育会と連携し、各種研修講座を開催するとともに、その内容の充実に努めます。(教育実践、教科指導法、教科実技研修会、生徒指導研修会、明るい学校づくり研修会等)</li> <li>・計画訪問及び要請訪問等での指導助言を充実し、授業力の向上を支援します。</li> </ul>					
事務事業の成果と評価	事業名	概要	主な成果			評価
	教育実践研修会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の教育実践を生かした教育論文の書き方から授業分析までの研修を行い、よりよい論文を作成することを通して、教員としての資質向上及び常陸太田市からの発信を目的とした研修会。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の教育論文応募24点。入賞8点。</li> </ul>			b
	実践的な研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土教育研修会、常陸太田教育研究所における討論やワークショップ型研修会、ICT研修会、理科指導法研修会等授業に役立つことを目的とした研修会。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員一人一人が専門職としての力量を高めようと努力し、授業で活用する教材・題材等に役立っている。</li> </ul>			b
常陸太田教育研究所研修講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員個々の自発的・主体的な意欲に基づいた「求める研修」を行うことで、教員としての資質及び指導力の向上を図る。(休日及び夏季休業中に5回開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年齢や経験段階に応じた研修を導入することで、個別の課題解決を図り、職務への意欲を高めることができた。</li> </ul>			b	
成果を示す主な指標	事業名	指標名(単位)	H21	H22	H23	評価
	教育実践研修会	参加人数(人)	15	23	26	b
	実践的な研修の実施	全国学力・学習状況調査等(模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っているか「している」・%)	100.0	100.0	100.0	b
	常陸太田教育研究所研修講座	参加人数(人)	855	657	588	b
施策の総合評価	A 期待した成果があった		B 一定の成果があった		C 見直しや改善が必要	
課題と今後の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手・中堅教員など経験段階や養護教諭、幼稚園教諭など職種にも応じた研修会の開催及び教育会と協力した研修会を開催する。</li> <li>・校内研修の充実に資するような内容を計画し、研修成果を自校化できるように支援する。</li> <li>・新学習指導要領の趣旨を生かした授業づくりを推進していく。</li> </ul>					
教育行政評価委員による意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、自発的な研修等により、質の高い教師を目指す取り組みを継続してほしい。</li> <li>・子どもたちを褒めることのできる教師になってほしい。</li> <li>・子どもへの接し方、対応の仕方等の研修があっても良いのではないかと考える。</li> </ul>					

## 参考 教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した5名の委員により構成されている。

常陸太田市教育委員会委員 [平成24年3月31日現在]

職名	氏名	任期
委員長	西野 孝一	平成21年10月5日から平成25年10月4日まで
委員長職務代理者	庄司 敬一	平成20年4月1日から平成24年3月31日まで
委員	佐藤 幸子	平成21年4月1日から平成25年3月31日まで
委員	根本 恵子	平成24年4月1日から平成27年3月31日まで
教育長	中原 一博	平成21年4月1日から平成25年3月31日まで

### 2. 教育委員会の活動状況について

定例会、臨時会など、平成23年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

年月日	出席委員数	件名
平成23年4月1日	5名	臨時会 ・委員長職務代理者の指定について
平成23年4月6日	3名	市内小学校入学式
平成23年4月7日	3名	市内小学校入学式
平成23年4月28日	5名	定例会 ・常陸太田市障害児就学指導委員会委員の委嘱について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市文化財保護審議会委員の委嘱について ・教育財産（佐竹小学校）の所管換えについて ・市教育委員会の行事等について
平成23年4月28日	5名	教育施設の震災状況について（現地調査）
平成23年5月26日	4名	定例会 ・常陸太田市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の全部改正について ・東日本大震災に伴う市立幼稚園保育料減免取扱要項の制定について ・常陸太田市奨学生選考委員会委員の委嘱等について ・常陸太田市社会教育委員の委嘱について ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・常陸太田市立図書館協議会委員の任命について ・平成23年度常陸太田市一般会計補正予算（第3号）

		案（教育財産関係）の編成に対する意見について ・市教育委員会の行事等について
平成23年6月23日	4名	定例会 ・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について ・市教育委員会の行事等について
平成23年7月28日	5名	定例会 ・平成24年度使用小・中学校教科用図書採択について ・常陸太田市公民館主事の任命について ・市教育委員会の行事等について
平成23年8月25日	5名	定例会 ・常陸太田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の意見について ・常陸太田市教育委員会事務局組織規則等の一部改正について ・常陸太田市立学校職員の自家用車の公務利用に関する取扱要項の一部改正について ・平成23年度常陸太田市一般会計補正予算（第4号）案（教育費関係）の編成に対する意見について ・常陸太田市スポーツ推進委員の委嘱について ・市教育委員会の行事等について
平成23年9月22日	5名	定例会 ・平成23年度小・中学校県費負担教職員の勤務評定の結果について（報告） ・常陸太田市教育委員会委員長の選挙について ・市教育委員会の行事等について
平成23年10月19日	4名	学校訪問（小学校2校・中学校1校・幼稚園1園）
平成23年10月24日	5名	学校訪問（中学校2校・幼稚園2園）
平成23年10月26日	5名	学校訪問（小学校2校・中学校1校・幼稚園1園）
平成23年10月27日	5名	定例会 ・常陸太田市公民館主事の任命について ・市教育委員会の行事等について
平成23年11月4日	3名	学校訪問（小学校3校・幼稚園1園）
平成23年11月25日	5名	定例会 ・常陸太田市立小中学校設置条例の一部を改正する条例の意見について ・常陸太田市温水プールの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の意見について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度常陸太田市一般会計補正予算(第6号)案(教育費関係)の編成に対する意見について</li> <li>・常陸太田市公の施設に関する指定管理者の指定について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>
平成23年12月21日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>
平成23年12月23日	5名	常陸太田市教育振興大会
平成24年1月8日	5名	平成24年成人式
平成24年1月27日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市学齢児童生徒の就学すべき学校指定に関する規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市指定無形文化財の指定について</li> <li>・常陸太田市無形文化財の指定について</li> <li>・常陸太田市有形文化財の指定について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>
平成24年2月24日	5名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について</li> <li>・常陸太田市公民館の設置及び管理等に関する条例の一部改正について</li> <li>・常陸太田市立図書館の設置及び管理に関する条例の一部改正について</li> <li>・平成23年度常陸太田市一般会計補正予算(第8号)案(教育費関係)の編成に対する意見について</li> <li>・平成24年度常陸太田市一般会計予算案(教育費関係)の編成に対する意見について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>
平成24年3月12日	23名	市内中学校卒業式
平成24年3月15日	4名	<p>定例会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市立学校管理規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市立学校事務の共同実施に関する規程の制定について</li> <li>・県費負担教職員の任免等の内申について</li> <li>・市教育委員会の行事等について</li> </ul>

平成24年3月30日	5名	<p>臨時会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常陸太田市教育委員会事務局組織規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市立学校管理規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市招致外国青年任用規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市里美文化センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について</li> <li>・常陸太田市公民館長の任命について</li> <li>・常陸太田市公民館主事の任命について</li> <li>・常陸太田市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・常陸太田市教育委員会の所管に属する職員の任免について</li> </ul>												
<p>平成23年度 教育委員会の会議開催状況</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">1</td> <td style="width: 10%;">開催回数</td> <td style="width: 80%;">14回（定例会12回、臨時会2回）</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>議案件数</td> <td>46件</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>報告件数</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>選挙件数</td> <td>1件</td> </tr> </table>			1	開催回数	14回（定例会12回、臨時会2回）	2	議案件数	46件	3	報告件数	1件	4	選挙件数	1件
1	開催回数	14回（定例会12回、臨時会2回）												
2	議案件数	46件												
3	報告件数	1件												
4	選挙件数	1件												